



令和元年 12月2日発行

第75号

北海道ムーブメント教育研究会会報

今年8月に開催された夏季講習会の様子を御報告いたします。月寒東小学校にて、『子どもと教師と新学習指導要領』というテーマで講習会が行われました。講師は平野次郎先生です。前半は、月寒東小合唱団児童への公開指導。子どもたちの笑顔が途切れることなく、見ている参会者の方々も楽しく参加できた一コマでした。後半には公開授業の内容と新学習指導要領のつながりについてお話ししていただきました。

午後開催の短い時間でしたが、アクティブで深い学びのある講習会となりました。御参加いただいた皆様には、この場を借りて改めてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

子どもと教師と新学習指導要領 ～常時活動、音楽づくり、共通教材を中心に～

講師 平野 次郎 先生 (筑波大学附属小学校 教諭)

第一部 常時活動 & 即興表現

第二部 音楽づくり & 歌唱共通教材



第一部は子どもの「学びに向かう力」を引き出すための教師の役割や常時活動で獲得できる知識について、指導を交えながらお話ししていただきました。

月寒東小学校合唱団の児童とは初対面なのに、持ち前の明るさで、子どもたちとすぐに打ち解け、一人一人のよさをぐんぐん引き上げて表現力を高めます。思いもよらない即興表現も、周りの子どもたちと共感し合い、もっともっとすてきな表現へと導いていく指導力。自分も身に付けたいなと思うとともに、2学期の音楽授業への意欲ともなりました。



第二部は「学ばせ方改革」と言われる新学習指導要領のポイントを前半の指導と絡めながらお話ししていただきました。シンプルな教材をいかに深い学びにつなげたらいいのか、参会者の方々ともコミュニケーションをたくさん取りながら講習を進めてくださいました。歌あり、打楽器あり、ゲームあり、リコーダーあり…。頭と体と心がフル回転。自分が子どもになったような気分で楽しく講習を受けることができたのも、平野先生のお人柄と音楽指導に対する熱意の賜物だと感じました。

～アンケートから～

- 一人一人が自分の考えをのびのびと表現できるための教師の言葉、指示の出し方、メモしきれないほどでした。自分も2学期、平野先生のように温かく関わり、楽しい音楽の授業をつくっていききたいと強く思いました。
- 「気付けさせる」授業として、受容と共感が大切だということが分かりました。「子どもに付き合っただけだよ。」という言葉が特に心に残っています。子どもの言葉に耳を傾け、その中にある価値を見付け、声を掛け、励ましていくことで、安心して表現できる音楽の授業がつけられることを学びました。
- 新指導要領のポイントを押さえつつ、体験を交えて楽しく学ぶことができました。また、子どもへの声の掛け方や接し方についても、日頃の自分を振り返り、反省すべき点に気付くことができました。もう少し時間がほしかったです。一日日程でもよかったですと思います。子ども達と一緒に活動するタイプの講座は初めてでしたが、とてもよかったですと思います。ぜひ、また参加したいと思いました。

東京オリンピック DNA

研究担当 高倉弘光

東京オリンピックが迫ってきた。マラソンと競歩の会場が札幌に移されるなどのハプニングも起きているが、否が応でも期待感が高まってくる。

私の中の期待感は、NHKの大河ドラマ「いだてん～オлимпиаック彗～」に影響されているかもしれない。日本人初のオリンピック選手の一人が、筑波大学の前身、東京高等師範学校に在学中だった金栗四三（かなくりしろう）であり、金栗を見出してオリンピックに派遣し、その後オリンピックの日本招致に大きな功績を残したのが、柔道の創始者としても名高い嘉納治五郎（かのうじごろう）である。その二人を含めたオリンピック招致へ尽力した人々の人間模様を描いたのが、このドラマである。嘉納治五郎も筑波大学の前身、東京高等師範学校の校長を務めており、本校筑波大学附属小学校の敷地内にも銅像が建てられている。

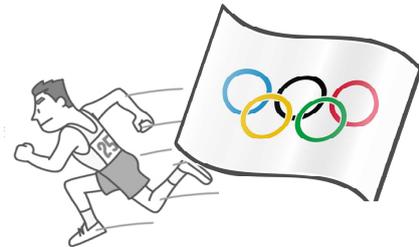
そんなわけで、本校とオリンピックとは切っても切れない関係にあるせいか、普段はスポーツにあまり関心をもたない私でさえ、来年の東京オリンピック開催に向けて、密かに盛り上がっているのである。

私がかつとも関心を寄せているのは、やはり「音楽」である。オリンピックは国の威信をかけて行う一大イベント。開閉会式のセレモニーはかなりの力の入れようだ。中でも音楽はその年のオリンピックを印象付ける大きな役割を担っていると言える。

これまでのオリンピックで、私がかつとも好きな音楽は1984年のロサンゼルスオリンピックのときのものだ。ジョン・ウィリアムス作曲の「オリンピック・ファンファーレとテーマ」は実にいい！ 私が19歳の時だった。開会式、テレビから聞こえてきたのがこの曲。カッコよかった！ 開会式の演出も画期的と思われた。すぐさまCDを買った。札幌の旭小学校に勤めていたときには、運動会で高学年の組体操演技中にもこの曲を流した。学校の放送機器ではあまりにも音が悪いというので、わざわざ自前のオーディオを持ち込んで、仲間と一緒に設置したのも懐かしい。そして現任校でも、毎年選手リレーの入場でこの曲を使っている。クルマの中でも「気分を上げていこう！」と高速を飛ばすときにも、きまってこの曲が大音量で聴きたくなるから自分でも笑ってしまう。それくらい好きな音楽だ。

さて、来年の東京オリンピックではどんな音楽が大会を彩るだろうか。前回の東京オリンピックの閉会式入場曲は團伊久磨さんの作曲。お孫さんの團遙香さん（現在、日本テレビのZIPで活躍中）は本校の卒業生。私も4年間音楽を教えた。リコーダーが苦手なお嬢さんだった(^_^)

来年の東京オリンピック開会式の演出は、能の野村萬斎さん。これまた本校の卒業生。嘉納治五郎先生、金栗四三から始まった日本のオリンピック。いまだに本校の歴史とつながっている感じがする。オリンピックDNAとでも言おうか。



(たかくら・ひろみつ 筑波大学附属小学校)

北海道ムーブメント教育研究会

令和元年度・事務局体制

会長	大坂 克之（あいの里大藤幼稚園長）
事務局 総務	細貝 睦（札幌市立栄町小学校）
研究	上埜 光規（札幌市立月寒東小学校）
	高倉 弘光（筑波大学附属小学校）
	畠山 美砂（札幌市立西小学校）
	田尾 明子（札幌市立新琴似南小学校）
	石田 晃大（札幌市立共栄小学校）
	国府 由香利（美深高等養護学校あいべつ校）
	西 祐子
会計	竹内 倫子（札幌ゆたか幼稚園）
	三上 恵（岩見沢市立南小学校）
	高澤 伊織（札幌市立札幌苗緑小学校）

広報	稲船 志津子（江差町立南ヶ丘小学校）
	齋藤 裕奈（江差町立南ヶ丘小学校）
	織田 暁知（札幌市立資生館小学校）
	佐藤 さゆり（石狩市立花川小学校）
	竹浪 恵（札幌市立新琴似緑小学校）
	中村 真紀（函館市立湯川小学校）
会計監査	大場 隆幸（札幌市立藻岩南小学校 校長）
	西 宏（札幌市立茨戸小学校 教頭）
常任顧問	堀田 吉宏（札幌市立伏見中学校）
	亀山 比佐（北翔大学）

今年も9月には一か月間の現場実習がありました。一か月間の実習が終わり、評価と今後の採用についての話を聞きに行くのが、進路指導担当としての私の仕事の一つです。ほとんどが「とても助かりました。」「本当に頑張ってくれています。」「周りが明るくなるんですよ。」そんな声をいただきます。しかし、「この子がいるとマイナス1の換算になるんです。」「指示を聞かずに自分の主張をするんです。」「日誌を書かせたら助詞の使い方を間違えて書くんです。」そんな評価を受けて不採用になってしまう生徒もいます。私は、「最初からプラス1の高校生なんているのか？悪気があって主張したわけじゃないし、それを含めて発達障害って言うんじゃないの？助詞の使い方って、それが正確にできれば養護学校に来ないわよ！普通高校だっているだろ！」と思いつつ「本当にすみませんでした…」と頭を深々と下げて帰ってきます。おいおいと泣く本人を前に、現実には現実、厳しい言葉も言わなければなりません。「前を向いて行くしかないよね…」と二人でうなずく。私も悔しい。そんな事もあってじゃないけれど今年度の合唱曲は混声三部合唱「虹」とSEAMOの「continue」です。「虹」も支援学校とは思えないほどきれいな三部合唱。「高等支援学校合唱コンクールがあったら1位だね！」と太鼓判です。「continue」はメッセージソングです。「あきらめる、あきらめない、決めるのは自分…。負けたら終わりじゃなくてやめたら終わりなんだよね、どんな夢でも叶える魔法、それは続けること」エルガーの「威風堂々」のメロディに乗ってラップで叫びます。音楽で輝く彼らを今年度は、旭川市内のガチ合唱部だらけのフェスティバルに出演させてみようかと思っています。私、何を伝えたいのかな？多分、音楽は楽しいってことだな。「音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度ってこれだよ！」って伝えたいんだと思っています。

新事務局員の声



今年度、事務局に仲間入りさせていただきました江差町立南が丘小学校の齋藤裕奈です。

今年の夏に行われたムーブメントの夏季講習会に誘っていただいたときは、音楽の知識が無い私が参加してもいいのかなあと少し不安に思っていました。ですが、音楽を今まできちんと勉強したことがなかったですし、実際に現場でどのようなことをするのかもあまり見たことがなかったので、話を聞いてみて楽しそうだと感じ、勉強のためにも参加させていただくことにしました。

講師の平野先生が常時活動として紹介してくださった活動を見て、私でも普通の授業に取り入れることができそうだし、やってみたいなと思いました。自分自身も、体を動かして歌ったり、リズムを感じたりする活動がとても楽しく思いました。今までは教科書を眺めて、何となくやっていたこともあったのですが、子どもたちが「やってみたい！」と思えるような活動にすることや声掛けを工夫することの大切さを学びました。

実際に子どもたちと音楽の授業で拍に合わせて順に手を叩く活動をやってみたのですが、普段は歌を歌うのが苦手な子も、楽しそうにリズムに合わせてみんなと一緒に活動できたのが良かったと思いました。歌を歌ったり、リコーダーなどの楽器を演奏したりするだけが音楽ではないことを実感することができました。グループでの活動や、全員での活動は子どもたち同士の関係性づくりの一つでもあるので、音楽は学級経営でも大事なことだと思いました。音楽を通して、子どもたちから様々な気付きが生まれるような授業を目指して、これからいろいろな活動を取り入れてやっていきたいなと思います。



発表会で育てる力 幼児教育～小学校教育へ

12月、私の園では発表会があります。毎年年長組は『創作劇』と『歌と器楽合奏』を発表していました。ですが今年はより『子ども達と創る』発表会にしよう！ということで、(持ち時間だけは決められていましたが)クラス毎、子ども達と話し合い進めていきました。まずはどんなことを発表したいか、何日もかけて話し合い、1クラスは『劇』と『ミュージックベル』もう1クラスは『劇』と『ショータイム』と決まりました。やりたい事をつなぎ合わせるストーリー作りは、保育者も一緒になりアイデアを出していきませんが、台詞や動きは同じ役の子が集まり子ども自身で決めていき、衣装のほとんどはカラーポリ袋を使い、小道具ももちろん自分で作ります。

自分の得意なことを活かし、友達と一緒に作っていく発表会。自分達で考えたからこそ楽しく、そして自信をもって発表できるのです。

この発表会に向けての活動は<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿>の全ての項目に繋がっており、このような経験を通して育んだ資質・能力が小学校教育に繋がっていくことと考えています。

(札幌ゆたか幼稚園・竹内 倫子)



令和元年度 冬季講習会開催要項

1. テーマ 「子どもが幸せになる 音楽授業」

2. 日時 令和2年1月12日(日) 13:00~16:00

3. 会場 札幌市立栄町小学校

〒007-0836 北海道札幌市東区北36条東13丁目3-1

TEL: 011-752-4130 (札幌市営地下鉄・東豊線「新道東駅」より徒歩5分)

4. 日程

12:30~	受付
12:55~	開会式
13:00~	第1部「新指を分かりやすく解説」「ムーブメント基本エクササイズ(授業の導入)」 講師：高倉弘光先生(筑波大学附属小学校 教諭)
14:45~	第2部「鑑賞と身体表現 ~『シンコペーテッドクロック』の鑑賞から~」 講師：高倉弘光先生(筑波大学附属小学校 教諭)
16:00	閉会式

5. 主催者 北海道ムーブメント教育研究会

事務局 札幌市立栄町小学校内(細貝)

〒007-0836 札幌市東区北36条東13丁目3-1 TEL: 011-752-4130

6. 後援 札幌市教育委員会

7. 参加費 一般3000円、会員・学生2000円

8. 申込み 札幌市立月寒東小学校・上埜光規まで FAX 011-851-1619

ホームページからも、申込みができます。

<http://hokkaido-movement.jimdo.com/> 「北海道ムーブメント教育研究会」で検索